

# 不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.16 (2017.7.27)

平成29年度スローガン  
おかげさまで140周年！新たな飛躍への一歩！  
みんなで目指す顧客感動経営  
Improve Customer Loyalty  
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

昨年の6月の本紙で乳がんに立ち向かう小林麻央さんの事を書かせて頂きました。残念ながら6月22日に「愛している・・・」という言葉を残して帰らぬ人となりました。夫の市川海老さんと二人の幼い子供たちを残して逝かねばならない無念さと、愛する妻・母親を失った家族の悲しみは、私たちの想像の域を遥かに超えたものでしょう。

昨年も「健康経営」について説明させて頂きましたが、これは従業員の健康管理を経営的な視点で考えて戦略的に実践することで、従業員の活力向上や生産性の向上等、組織の活性化、中長期的な業績・企業価値の向上を実現しようとするものです。今年健康診断は本社では5月11日に「はまなす号」で行われました。受診した方は59名で、通知結果によると再検査を要すると診断された方が37名おりました。そのうち再検査を受診した方は現段階で6名しかいないとの報告を受けております。

健康診断については、労働安全衛生法で「事業者は労働者に対し厚生労働省令で定めるところにより、医師による健康診断を行わなければならない。」と決まっています。しかしながら二次健康診断については会社に受診させる義務はなく、社員に強制することはできません。一方で会社には労働契約に付随する義務として「安全配慮義務」が課せられており、社員に何らかの異常所見があることを知りながら通常どおり業務を行わせた結果、その社員が倒れたり亡くなったりした場合、会社は「安全配慮義務」違反に問われ、損害賠償請求されることもあります。以上のことから今後再受診率の向上が認められない場合には、**就業規則で二次健康診断の受診を義務化**して社員の健康を悪化させないような対策をとることも検討致します。対象者で未受診の方は再受診予定日を総務部に報告するようにしてください。

## ユニオン建設安全大会

7月3日東京池袋メトロポリタンホテルで開催され、会社としての当社と、菅日出人君が感謝状を頂きました。



## 東北中央動道新庄湯沢間フォーラム



東北中央自動車道新庄・湯沢間建設ビジョンフォーラムが7/13に約900名の参加者で湯沢文化会館大ホールにて開催されました。十文字出身現在名古屋大学客員教授の佐藤登氏と3.11で国土交通省防災課長だった熊谷順子氏の2名から講演を頂きました。ガソリンエンジン車は無くなる、2030年には完全自動運転となる、3.11を忘れずに災害への備えを心がける。等貴重なお話を頂きました。

## 東北中央自動車道要望会



7月18日～19日、湯沢市・金山町はじめ近隣市町村と議会・商工会議所等民間団体で、国土交通省（湯沢・仙台・本省）・財務省・両県選出国會議員に、未事業化区間である金山町区間の早期事業化と、横堀道路・真室川雄勝道路等の予算確保を求めて要望活動をして参りました。官房長官からは土質調査が完了次第事業化を進めるとの言葉を頂きました。

